



2018年10月30日

各 位

上場会社名 株式会社 CDG  
 代表者 代表取締役社長 小西 秀央  
 (コード番号 2487)  
 問合せ先責任者 取締役業務本部長 山川 拓人  
 (TEL 06-6133-5200)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2018年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	5,200	200	200	138	24.49
今回修正予想(B)	4,540	23	42	190	33.85
増減額(B-A)	△659	△176	△157	52	
増減率(%)	△12.7	△88.2	△78.7	38.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2018年3月期第2四半期)	4,589	124	136	100	17.10

2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	11,500	750	750	517	91.85
今回修正予想(B)	10,500	300	320	370	65.58
増減額(B-A)	△1,000	△450	△430	△147	
増減率(%)	△8.7	△60.0	△57.3	△28.4	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	10,823	636	657	462	80.13

### 修正の理由

#### 1. 第2四半期累計期間の業績予想

当社グループが属するセールスプロモーション市場においてはノベルティ需要が減少している一方、デジタル化進展の中で、消費者の購買プロセスを見極め、ブランド価値を共有しながら消費者を購買へ誘導する仕組み作りが求められています。当社グループではそれらプロモーション需要への対応力を高めるため、SNSキャンペーンへの対応力や、効果測定に基づく独自性のある企画立案を可能にする基盤整備に努めてまいりました。しかしながら、第2四半期累計期間においてはノベルティ需要減少の加速化が想定以上だったことに加え、顧客の販売促進施策の方針転換等による受注減が重なったことで売上高が減少いたしました。また、キャンペーン自体がデジタル抽選、イベント、SNS拡散など、複数機能との連動が求められ受注案件は複雑化・多様化することとなった結果から工数が増加しており、一時的な生産性低下を招きました。このような状況から、当第2四半期累計期間の業績については当初予想を大きく下回る見込みとなり、売上高、営業利益、経常利益ともに下方修正をいたします。なお、親会社株主に帰属する四半期純利益については、2018年9月25日公表の「特別利益計上に関するお知らせ」にて記載のとおり、政策保有株式売却等による特別利益の計上により、当初計画を上回る見込みであります。

#### 2. 通期業績予想

通期業績については引き続き市場環境の変化に対応すべく、基盤整備を行い受注拡大に努めるとともに、更なる生産性向上やコスト抑制による収益の改善を見込んでおりますが、第2四半期累計期間の連結業績予想の下方修正や、当事業推進にはこれまで当社グループが主力としてきた店頭(リアル)プロモーションに加え、デジタル機能の融合化を中心とする様々なプロモーション手法を組み合わせる複眼的思考を持った人材育成の取組みが求められ、その成果には一定の時間を要することから、前回公表した通期連結業績予想を修正することといたします。

以 上